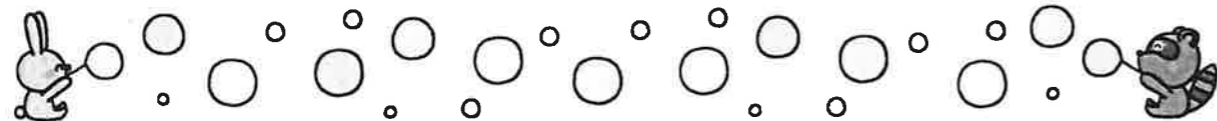




2026年度
松葉保育園
看護師

ぽかぽかと暖かい日が続き、子どもたちの元気な笑い声が聞こえています。多くの子どもたちは新しい環境に慣れてきて、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。一方、連休が多く生活が乱れがちになり、体調を崩しやすい時期です。規則正しい生活をして、元気いっぱい過ごせるようにしましょう。

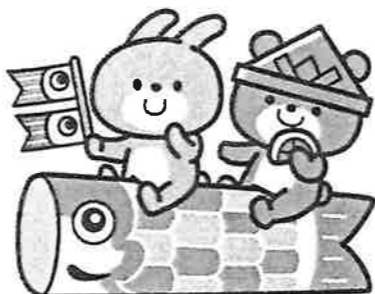


4月の感染症

伝染性膿痂疹(とびひ)1名:(3歳児1名)

5月の保健行事

- 13日(水) 身体測定(5月は頭囲と胸囲も測定します)
- 14日(木)9:15~ 春の健康診断(全園児)
- 28日(木)10:00~ 歯科検診(全園児)



~「日差しの強い季節」「虫刺されの季節」の到来です~

虫よけスプレー・日焼け止めに関しまして

当園ではお散歩のときに市販の虫除けスプレー

「フマキラーの天使のスキンベープミスト」を使用していきます。

お肌にやさしく、お子様への使用制限もないため、乳児・幼児クラスともに使用いたします。

また、蚊に刺されて痒がっているお子様には市販のかゆみ止め薬「ムヒ」を塗布させていただく事があります。

お子様個人ごとの「虫よけスプレー」「日焼け止め」の持参、塗布に関しては、薬による事故防止のため園ではお預かりできません。

また、剥がれてしまった場合の誤飲予防のため、

虫よけパッチやかゆみ止めパッチをつけたままでの登園はできません。

また虫よけリングをつけたままでの登園もできません。

ご理解とご協力をお願い致します。

- ・体質的に市販の虫よけスプレーや「ムヒ」が合わないお子様
 - ・医師から処方されたかゆみ止めがある場合
 - ・虫に刺されやすく伝染性膿痂疹(とびひ)になりやすい
- 上記お子様に関しては、担任へお申し出下さい。



歯の健康~子どもの歯を守るために~

5月28日(木)に園で歯科健診があります。

結果はその日にお渡ししますので、確認して必要であれば歯医者への受診の検討をお願いいたします。

★どうしてむし歯になるの？

歯質・糖質・菌(微生物)・時間の4つの条件が重なり合ったとき、むし歯になります。歯質は遺伝的な要素もあり、変えることはできませんが、それ以外の要因は、大人の配慮や、正しい習慣を身につけることでクリアできるもの。特に乳幼児期は、保護者のサポートが重要です。

歯質
むし歯
微生物
食品とくに糖質
時間

むし歯の進みかた

初期むし歯(C0) ケアして治せるむし歯 穴にはなっていないが、奥歯は黒ずんで見えたり、前歯では白っぽく見えたりする。正しい食習慣や歯みがきの励行、フッ素の使用で元に戻ることが可能。	むし歯(C1) エナメル質の小さなむし歯 穴にはなっているが、家庭では発見しにくい。自覚症状はたまたみしめる程度。	むし歯(C2) 象牙質まで進んだむし歯 目で見てわかるが、歯と歯の間にできた場合は見つけにくいことも。自覚症状としては冷たいものや、熱いものがしみることもある。	歯髄炎(C3) 神経まで達した重症のむし歯 しみる、ずきんずきんと激しく痛むなど、自覚症状が現れる。	歯根膜炎(C4) 歯髄炎が悪化したむし歯 歯髄炎をそのままにしておくと、神経が腐り、歯根の先にうみがたまる。微熱が出ることもあり、激しい痛みを伴う場合も。
--	--	---	---	--

むし歯予防4つのポイント

たいせつな歯をむし歯にしないために、次の4点に注意しましょう。

- 食べたらかよく習慣を**
 食後30分以内にみがくことで、菌の繁殖を抑えます。
- 栄養バランスのよい食事を**
 バランスのよい食事で、糖質のとりすぎは抑えられ、また、骨、歯によいとされるカルシウムは、ビタミン類やリンといっしょにとることで吸収されやすくなります。
- 規則正しい生活習慣を**
 生活リズムの乱れ、特に睡眠不足は、体の機能が低下し、抵抗力が弱まるなど体のあらゆる面において悪影響を及ぼします。
- 定期的歯科検診を**
 むし歯は、早く発見し治療することで、永久歯に影響を残さず済みます。